



11.9裁判から1987年7月、9.28裁判は89年1月にそれぞれ和解により決着。89年11月から「原告団」を「被災者の会」と名称変更して活動してきた。(被災者の会定期総会・本文は2面に)

# 政策闘争の前進めざす

## 期間、秋闘・労働条件の向上が切実な課題

新石炭政策が施行されてから二年目を迎え、あらかじめ対策や現存炭鉱対策などが不十分なまま推移している中で、新政策の完全実施と補強・補完を求めるたたい、さらに格差が拡大する労働条件の向上をめざして炭労第一九二回定期大会が開かれます。衆議院の解散・総選挙とも絡んで日程の制約がありますが、十分な大衆討論がなされています。

炭労第一九二回定期大会は、当 ④組織・財政のあり方、⑤平和闘争の推進、⑥一九九三年度予算、⑦諸闘争三権集約、⑧褒賞、⑨役員改選、⑩その他。

大会の議案は、①石炭政策闘争、②九三期未闘争、③九三秋季闘争、④石炭政策闘争については、石炭



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
大電話(53)3033-4  
編集兼人 森 卓  
半年間1,800円 送料共  
振替口座番号  
労働金庫大牟田支店  
825-普通 2612963

うーき  
6月23日 炭労大会方針案説明  
6月24日 労災中央審査会  
6月24日 賃金展開交渉  
6月25日 第八回委員会  
6月25日 保安委員会

炭労大会に向け  
大衆討議へ

### 総選挙—夏の陣

〇…もみ手宰相、頭にか隊を海外派兵したところから「改憲クレーター」である。やがて、解散・総選挙となった。田高、ホワイト合理化、改憲問題など、さして面白くない世の中、あやニヤニヤされたまま、政治改革をめぐる。政治改革をめぐり、「もみ手宰相」「無能首相」と罵倒されつつ、自民議員の一部からも不信任案を投じられ、自民分裂の結末を迎えた。

〇…宮沢政治で後世に残ることを踏みにじり、戦後初めて自衛隊内閣が行った海外派兵の是非を問う、憲法への姿勢も問われるところだ。

〇…労働界では、この秋から年金、時短法、最低賃金など、福祉とシニア法をめぐって各種審議会が動き始める。いずれも制度変更にかかわる重要課題。年金では支給開始年齢を六十五歳に引き延ばすかどうかが最大の争点。時短法は、中小の時短競争措置や時間外割増率のアップが焦点となる。最賃では、目安制度の見直しも浮上している。

〇…自民は過半数を割った。総選挙でヨーロッパのように連立政権が誕生するかどうか。秋の労働政策にも大きな影響を及ぼす総選挙。一票の重みを考えたい。

### 期末交渉、十二日から

炭労の九三年上期の期末闘争は、の他産業平均との比較では二十万円の格差があり、要求額との開きも高額交渉社で八万五千円あり。また春闘での三井社の集合交渉離脱問題があり、この点での壁を打ち破ることが課題です。

### 三井病院の春闘妥結

石炭から分離し三井鉱山に経営が移行したことによって、独自の交渉となった三井大牟田病院の賃金交渉は、六月七日から開かれ翌八日午後六時に妥結しました。

### 港務所の期手が妥結

増給実施日は四月一日。新給与支払いは七月分からです。同時に四書補償は石炭同様となりました。

妥結内容は、要求額一人当たり月額一三、六〇〇円に引き上げ、一〇〇円(なお、今年度増給のため一人当たり一五〇円の財源で本給修正を行う)。計四、二五〇円。

港務所(三井鉱山三池事業所)の九三年上期期末手当交渉は六月十日から行われ、翌十一日午後六時妥結しました。

# 真の政治改革めざして

# 総選挙勝利を

### 宮沢内閣不信任

### 衆議院解散、総選挙へ

七月四日公示、十八日投票

政治改革をめぐって百日間以上を費やした国会は、会期末になって混沌の度を強め十八日、ついに社会党など野党が提出した宮沢内閣不信任案が賛成二百五十五、反対二百二十で可決された。

### 三池労組の推薦候補

福岡三区 細谷治通



昭和十四年生まれ、五十三歳。興立大牟田北高卒。東京大学法学部卒。国鉄勤務二十四年、本社自動車局総務課長で退職。六十一歳日本社会党入党、同年衆議院議員細谷治通秘書。六十二年日本社会党大牟田総支部総務部長、同福岡県本部副委員長を経て平成二年衆議院議員に当選。大蔵委員、石炭対策特別委員会委員、同委員会理事。日本社会党シャドーキャビネット委員会予算担当委員長。

### 熊本一区 田中昭一



昭和八年生まれ、六十歳。熊本通信講習所普通部、京都電気通信学園専門部を経て現NTTに勤務。全電通東支部委員長、本県連合会常任顧問。